

国立女性教育会館 (NWE C) は、なぜ、事業仕分けされたのでしょうか。男女共同参画は国の重要課題のひとつです。

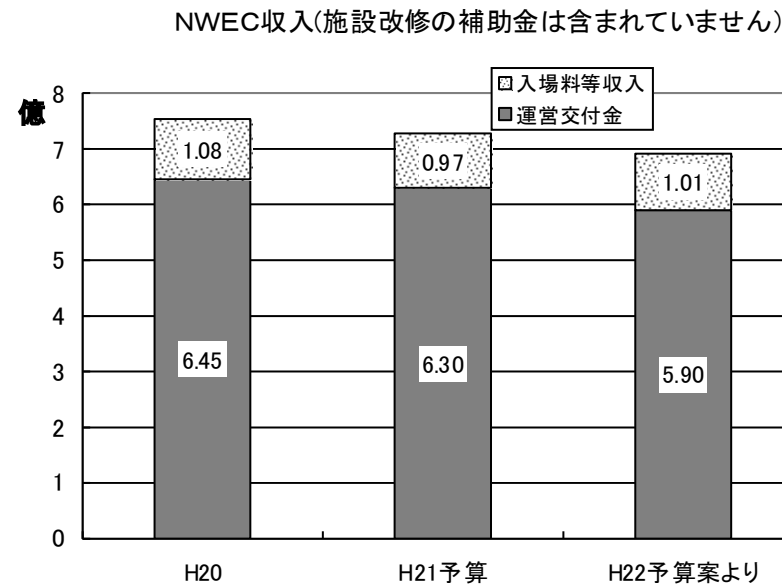
NWE Cは昭和 52 年建設で 32 年経過です。①建物の老朽化にかかるコスト、②都心ではないため不便なことが、厳しい評価の理由のひとつと考えています。

事業仕分けで、国立女性教育会館は、交付金の 2 分の 1・3 分の 1 の削減が申し渡されました。嵐山町議会では、全会一致で予算削減の見直しの意見書を提出しました。

国への予算要望・運営交付金 6 億 2100 万円→予算案 5 億 9000 万円。3100 万円の減額→来年は運営できてよかった。8 階建ての宿泊施設、広さ 13 万 8 千㎡、維持管理が大変ですね。

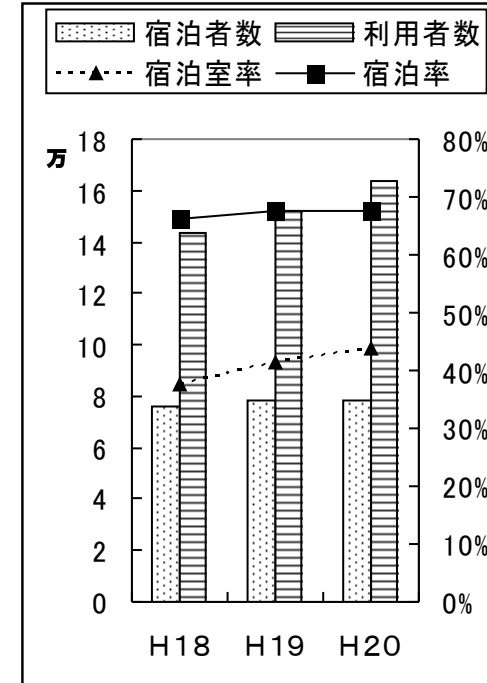
戦前、NWE C の場所は農士学校の畑でした。戦後、県に移管。昭和 46 年、婦人が子育て後、生涯学習に参加するようになり、婦人リーダー育成・情報収集・研究・交流のための施設が求められ、広大で自然環境のゆたかな嵐山町に決定。

● NWE C は文部科学省の独立行政法人で女性リーダーの育成に重点がおかれています。直接困っている女性に対応できません。暴力や貧困で困っている女性が多いのに！



NWE C のH20年度の大まかな支出
NWE C ホームページ上の情報より計算しました。

窓口案内業務委託金	9260 万円
施設維持費	6262 万円
常勤理事報酬(2 名)	2736 万円
職員給与(26 人)	1 億 7462 万円
臨時職員給与(19 名)	3823 万円
退職金・福利厚生費	2910 万円
埼玉県地代	4195 万円
水道光熱費	6963 万円
書籍・通信費・消耗品・謝金等	2 億 8764 万円
合計(減価償却費除く)	8 億 2375 万円

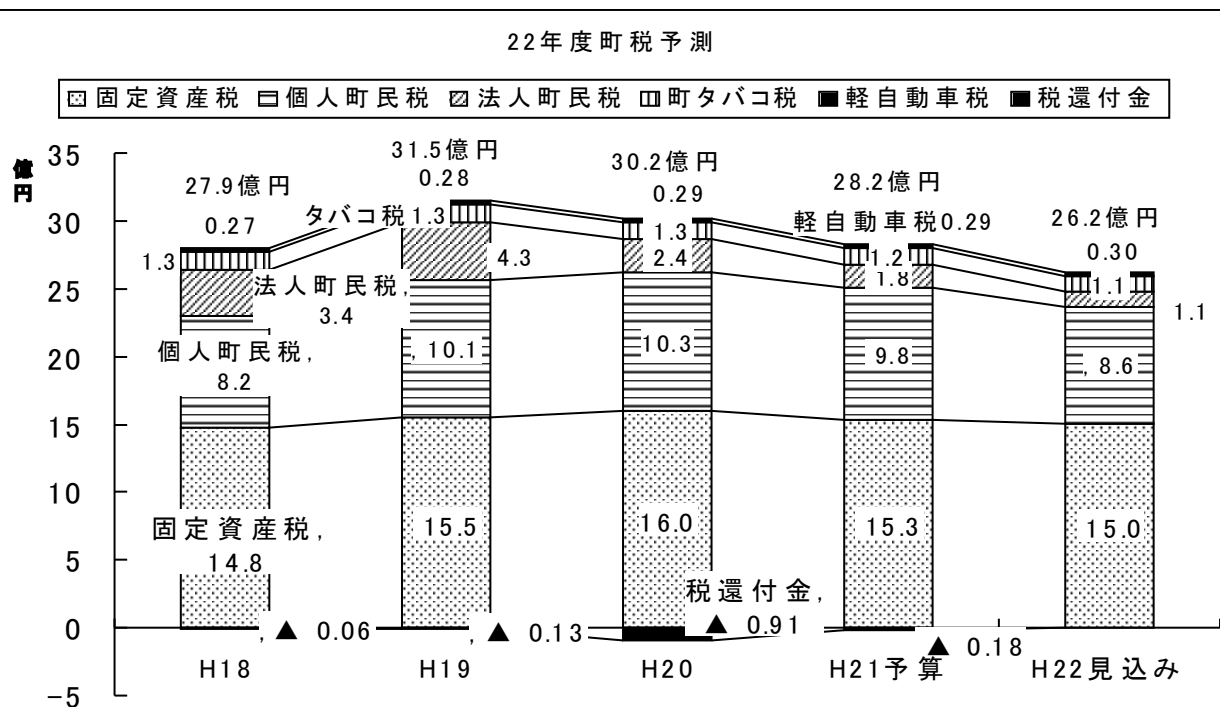


● シングルマザーの半数は貧困です。連休に仕事のための講座に参加し、子どもと一緒に料理をしたり、気軽なスポーツやキャンプ等できるといいですね...

● 左のグラフはNWE C の利用状況です。1 日 343 人まで泊まれます。1 人部屋から 4 人部屋まであります。
★ グラフの宿泊率は年間の総宿泊者を 1 年間の宿泊可能者数で比率をだしたもの
★ 宿泊室率は 1 年間の部屋の利用率。
● 事業仕分けでは、宿泊室率が低いことが問題でした。平日の宿泊学習は、学生か仕事か余裕がないとできませんね。

※上のグラフの 20 年度収入は、そのほかに受託事業(1071 万円)、施設整備費補助金 (8246 万円) 等がありました。

町税収 22 年度は 21 年度より 2 億円少なくなる見込みです。どの政策を優先??



- グラフのように、町民税は年々落ち込んでいます。不足分は国が借金して地方交付税や補助金として地方に回すお金と町の借金で間に合わせます。
- 20 年度地方交付税は 4 億 9 千万円でしたが、21 年度は 6 億円 2500 万円です。
- 国が変わらないと地方も変わらない。国の省庁再編が始まると地方財源を生み出すことができるだろうと期待しています。
- 旧菅谷幼稚園を貸していただけそうです。大きな桜の木、緑いっぱいの庭。小さい子ども、お母さん、放課後の子どもの遊び場として利用できるといいですね。不登校の子も居場所としても利用できるといいですね。



税金も使われる市町村議員年金なので...

廃止をして年金一元化を実現してほしいのですが



● 全国町村議長会では「議員年金存続のための要望書」を昨年 12 月 28 日小沢民主党幹事長に提出しました。

● 少子高齢化で税金を納める人が減っています。市町村合併で議員数も激減し掛け金も減っています。議員の老後保障の確立というのは無理があります。議員年金は破綻寸前です。嵐山町 13 人に対して町は 632 万円支出しています。税収が減るのに税金のなかから、町村の負担を増やし継続では私は後ろめたい気持ちです。